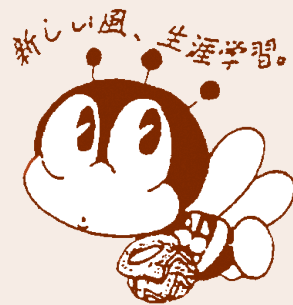




藤山光秋さん(右端)

電気の設備関係の会社を退職して十余年、私のボランティア活動との係わりの長さでもあります。
今後の人生をどのように過ごすか？生涯心も体も元気で過ごしたい。当時「やらなければ」と思うことが三つありました。



デザイン：石ノ森 章太郎
生涯学習のマスコット“マナビィ”

NO.266

昨年、長年のボランティア功労に対し厚生労働大臣表彰感謝状の贈呈を受けられた、手仕事VO(ボランティア)「助っ人マン」をご紹介します。
現在地域で活躍されていますが、活動の発端はメンバーの退職後の人生への思いにありました。

「仲間と共に生涯元気！」

手仕事VO(ボランティア)「助っ人マン」代表

藤山

光秋 みつあき



ネジの取替作業

の簡単な作り物などをお手伝いする「助っ人ボランティア」でした。

平成21年に、前代表が病に伏せられ、一年間活動休止となり、存続の危機に直面しておりました。その時継続を促してくれたのが

田布施町ボランティア連絡協議会でした。先輩

方が長年続けてこられた活動

や、仲間との繋がりを活かさないのは勿体ない

と促され、平成22年に、手仕事VO「助っ人マン」と改名して活動を再開しま

一つは体を動かすこと、ウォーキングやジム通いも結構やりました。(でも今は...?)
二つめ、食に気を使い体重を増やさないこと。これは何とか維持できているかな？
そして三つめ、仕事から解放されて何かをする。この漠然とした思いの選択肢の一つがボランティアでした。
そんな中で地域の先輩ボランティアに誘われて入ったのが、主に障がい者のイベントのお手伝いや、地域の方



環境見守りスタッフ

した。

電球交換、簡単な棚の取り付け、建具の調整、その他諸々を行っています。また新たな活動として、田布施町ボランティア連絡協議会のイベントのお手伝いもしています。

ボランティアを通じて初めて見えてきた世界もあります。なによりも気心の知れた仲間とわいわい言いながら、気負いなく楽しんでいる上に、感謝の言葉まで頂き、現役時代とは一味違った感激を味わっています。

表彰も受け、これからも生涯現役ならぬ生涯元気の為に、健康に気を付けながら、積極的に人と交流し仲間とチャレンジし続けて行きたいと思っています。

表彰も受け、これからも生涯現役ならぬ生涯元気の為に、健康に気を付けながら、積極的に人と交流し仲間とチャレンジし続けて行きたいと思っています。



家屋に接した笹刈り

11月29日（土）に西田布施公民館で田布施町人権教育推進大会が開催されました。

大会では、夏休みに町内の小・中・高校生から募集したスローガン、作文、詩を審査した結果を編集した作品集を配布し、入賞者の顕彰を行いました。特選者は次のとおりです。（敬称略）

🌸 特選者

■スローガンの部 1点

「つながる手 広がる絆 笑顔の輪」
井神 萌^{もえ}（田布施中学校 3年）

■作文の部 2点

「みんななかよく」
河原 凰琉^{こうりゅう}（城南小学校 2年）
「「ふわふわ言葉」に気持ちをこめて」
山根 茉紘^{まひろ}（田布施西小学校 6年）



■詩の部 2点

「言葉」
金田 紗輝^{さき}（田布施農工高等学校 2年）
「未来を支える力」
浅田 朋揮^{ともき}（田布施中学校 1年）

2014

やまぐち発明くふう展で 入賞されました

☎ 社会教育課 ☎ 52 - 5813

10月19日（日）、一般社団法人山口県発明協会が主催する「2014 やまぐち発明くふう展」において、山口県児童センターで表彰式が行われました。

このくふう展には一般小中学生から多数の応募があり、小中学生の部で6名の入賞のうち、田布施町少年少女発明クラブから4名の児童が入賞しました。



奨励賞
長迫 凌央^{りょう}
麻郷小4年
「モーターはなぜ回るの？」



アイデア賞
長合 祐奈^{ゆうな}
東田布施小6年
「プラネタ万華鏡」



アイデア賞
石田 宜義^{のぶよし}
城南小3年
「ながいもきりき」



優秀賞
上岡 竜貴^{りゅうき}
田布施西小6年
「自動小ぜにふり分け機」

